

議題

(1) 千葉県ギャンブル等依存症対策推進計画の中間見直しについて

- ① 計画案について
- ② 目標指標の状況について
- ③ スケジュールについて

(1) ① 計画(案)について

概要 (案)

[illegible]

(1) ① 計画（案）について

修正内容：中間見直し後の取組（重点事項）

1) 相談体制の充実

・啓発週間相談会（司法、医療、福祉、相談、民間）の継続

・専門相談窓口の充実（相談拠点）

【県、相談拠点機関、治療拠点機関、各関係機関】

2) 若年層への普及啓発の推進

・県立高校等への啓発冊子の配布

・大学との連携した取組の継続

【県、相談拠点機関】

3) 依存症専門医療機関同士の横の連携の強化

【県、治療拠点機関、相談拠点機関】

4) 県委託研修の受講対象者の拡大

・医療機関職員だけでなく、地域の支援者等も対象とする。

【県、治療拠点機関】

5) 民間団体や自助グループとの連携の取組の継続

・家族講演会や治療回復プログラムの際の連携

【県、相談拠点機関、治療拠点機関】

6) オンラインカジノ対策

・違法であることの普及啓発

・周知や啓発の強化

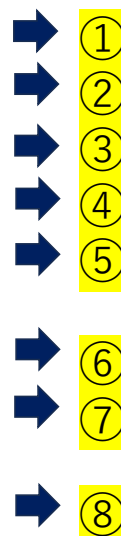
【県警、県教育庁】

(1) ① 計画（案）修正内容

- 第2章 ギャンブル等依存症の状況（関係事業者の状況（千葉県の場合））
→それぞれ最新の数値に修正（直近5年分）⇒「R元年度～R5年度」

○ 第3章 取り組むべき具体的施策

- ・（Ⅰ－1）啓発週間相談会（官民連携による相談会の実施）を加筆
- ・（Ⅰ－2）若年層への普及啓発を推進
- ・（Ⅱ）相談窓口の充実を加筆
- ・（Ⅲ－1）専門医療機関同士の連携体制強化を加筆
- ・（Ⅲ－2、Ⅵ）医療従事者や地域の相談支援関係者等を対象とした研修の受講対象者を修正（対象を拡大）
- ・（Ⅳ）民間団体、自助グループとの連携の強化を加筆
- ・（Ⅴ－2）オンラインカジノに接続して賭博を行うことが違法であることの周知や啓発の強化を加筆
- ・（Ⅵ）目標数値の修正



(1) ① 計画(案)修正内容 (具体的内容) (第3章 IV)

⑥

・IV □ギャンブル等依存症に関する民間団体との連携

【現状と課題】

自助グループをはじめとする民間団体は、ギャンブル等依存症からの回復に重要な役割を担っており、県内各地で活動していますが、ギャンブル等依存症会やその家族にその活動が十分に周知されていません。

民間団体の活動の認知を高める必要があり、自助グループ等と連携した法政部道プログラムの実施や、活動への支援の充実が重要となります。

【具体的施策】

・1 □県内各団体における取組

□・□千葉県ホームページにおいて民間団体の活動を紹介し、「依存症家族講演会」を開催するなかで、民間団体や自助グループ等の活動を紹介する。【再掲】

□・□「ギャンブル等依存症に関する相談情報」冊子を作成し、関係機関が活動に支援先を紹介できるよう取り組み、民間団体や自助グループ等と連携を図ります。【再掲】

（県精神保健福祉センター）

□・□依存症相談拠点機関が実施する「依存症家族講演会」や依存症法政部道拠点機関が実施する当事者・家族教室等において、民間団体や自助グループ等と連携を図ります。

（県精神保健福祉センター・船橋北病院）

□・□自助グループによる相談等の活動への支援の充実について検討します。

（県障害福祉推進課）

・2 □関連事業者における取組

□・□ギャンブル等依存症問題の対応を進めている民間団体に対する補助事業を実施します。

（競馬・競輪・オートレース・競艇・びんご、パズスロ）

(1) ① 計画(案)修正内容 (具体的内容) (第3章 V)

⑦

・V □ギャンブル等依存症者に対する多重債務問題への支援

【現状と課題】

ギャンブル等依存症者は借金等を担保するために、複数の金融機関等から借金を行うことがあり、この返済が困難になることで、生活費を使い込むなど、生活困窮になる場合や困窮に至らないまでも、生活の建て直しが課題となります。

また、返済が困難な状況にも関わらずギャンブル等に依存し違法なギャンブル等に手を出してしまふ可能性もあり、これらの取組も重要な課題となります。

加えて、オンラインゲームやインターネットゲームなどでも依存性が強いものがあり、ゲームを進めていくための課金により多重債務などの問題が発生する場合もあります。

【具体的施策】

生活支援の開始が遅れることで、返済額が増え、多重債務の問題が生じるほか、家族等との関係性の悪化につながり、様々な問題が生じるため、早期からの支援が重要となります。

多重債務問題は、借金をしないことはもちろん、返済困難となった場合の対応なども含めた適切な支援が必要となります。

・1 □多重債務問題への相談支援

□・□自治体における取組

□・□消費生活や多重債務、個人情報保護に関する相談支援を実施します。

（県消費生活センター）

□・

・(2) 民間団体における取組

□・□家族教室や家族セミナーを開催し、家族の対応方法について助言し、当事者・家族が、落ち着いて相談の受付けをすることができるよう、家族間の話し合いの仲介役も行います。

（ギャンブル依存症問題を考える会 □千葉）

□・□生活福祉資金等の貸付パンフレット・リーフレットを関係機関等へ配架し早期に相談につながる取組を行います。

（県社会福祉協議会）

・2 □違法に行われるギャンブル等の取締り等の強化

【現状と課題】

千葉県警察においては、違法な賭博営業店やギャンブル等の厳正な取締りを推進しており、令和3年9月末現在、警察では、県公安委員会の承認を受け、数台のパチンコ台の盗掘くぎをハンマーでたたいて棒を突くなどしたパチンコ店を県庁営業等の規制及び営業の適正化等に関する法律違反として立件したほか、射撃心をそそるポスターを掲示した店舗等への行政処分を実施しています。

厳正な取締りにもかかわらず、違法な賭博事犯等が依然として発生しており、また、警察の取締りから逃れるための対策も巧妙化しています。

【具体的施策】

□(1) 警察における取組

警察においては、引き続き、違法な店舗や射撃心をそそる広告等に添着情報の収集に努めるとともに、厳正な取締りを実施し、違法ギャンブル等の根絶と県内環境の浄化を推進していきます。

□(2) 自治体における取組

県警本部県民安全課や県内機関と連携をし、国内からオンラインカジノに接続して賭博を行うことが違法であることの周知や啓発の強化を図ります。

（県警察本部県民安全課・県教育委員会保健体育課・県精神保健福祉センター）

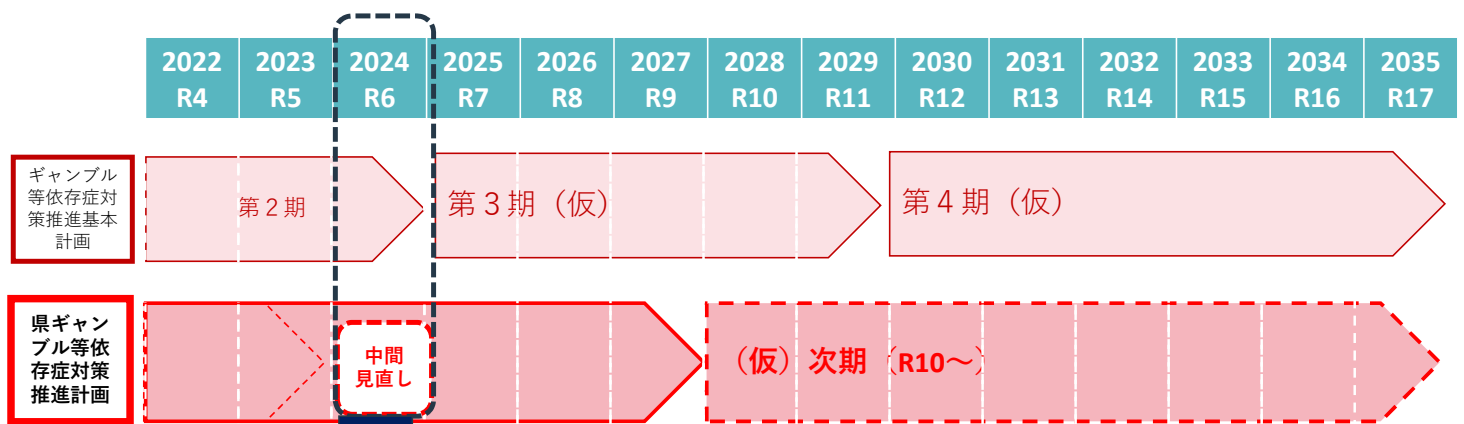
千葉県ギャンブル等依存症対策推進計画【重点課題数値目標の状況】（現状値）（令和5年度）

		目標指標		策定時 (R2年度)	中間目標 (R6年度)	数値目標 (R9年度)	R4年度	R5年度 (現状値) ※R5年度末	中間目標 達成状況	
1	自治体 における 目標	依存症専門医療機関	依存症専門医療機関数の増加を図ります。	2か所	3カ所	4カ所	2か所	2か所	未達成 見込み	
2		治療回復プログラム参加者数※ (相談拠点機関) ※各年度4月1日から3月31日までの延人員	相談拠点機関における治療回復プログラム参加者数の増加を図ります。	21人	27人	32人	6人	32人	達成 (R5実績)	
3	治療機関 における 目標	専門医療機関治療件数 (専門医療機関合計) ①外来診察件数(実人数)※ ②外来診察件数(延人数)※ ※各年度4月1日から3月31日までの診察件数	依存症専門医療機関における診察者数の増加を図ります。	①	103人	130人	150人	200人	275人	達成 (R5実績)
				②	1238人	1600人	1800人	1,078人	1,371人	未達成 見込み
4	治療機関 における 目標	治療回復プログラム参加者数 (治療拠点機関) ①プログラム終了者(実人員)※ ②プログラム終了者(延人員)※ ※各年度4月1日から3月31日までの実人員	依存症治療拠点機関における治療回復プログラム参加者数の増加を図ります。	①	57人	70人	90人	76人	116人	達成 (R5実績)
				②	175人	230人	260人	395人	499人	達成 (R5実績)

千葉県ギャンブル等依存症対策推進計画【重点課題数値目標の状況】

		目標指標		策定時 (R2年度)	中間目標 (R6年度)	数値目標 (R9年度)	R4年度	R5年度 (現状値) ※R5年度末	中間目標 達成状況	(見直し後) 目標値(案) (R9年度)
1	自治体における目標	依存症専門医療機関	依存症専門医療機関数の増加を図ります。		2か所	3カ所	4カ所	継続		4カ所
2		治療回復プログラム参加者数※ (相談拠点機関) ※各年度4月1日から3月31日までの延人員	相談拠点機関における治療回復プログラム参加者数の増加を図ります。		21人	27人	32人	修正 (増加)		80人
3	治療機関における目標	専門医療機関治療件数 (専門医療機関合計) ①外来診察件数(実人数)※ ②外来診察件数(延人数) ※各年度4月1日から3月31日までの診察件数	依存症専門医療機関における診察者数の増加を図ります。	①	103人	130人	150人	修正 (増加)		350人
				②	1238人	1600人	1800人	継続		1800人
4	治療機関における目標	治療回復プログラム参加者数 (治療拠点機関) ①プログラム終了者(実人員)※ ②プログラム終了者(延人員) ※各年度4月1日から3月31日までの実人員	依存症治療拠点機関における治療回復プログラム参加者数の増加を図ります。	①	57人	70人	90人	修正 (増加)		130人
				②	175人	230人	260人	修正 (増加)		650人

(1) ③ スケジュールについて



（令和6年度の予定）

- 推進協議会 ① R6年8月、② R7年1月、（③パブコメ後必要時）
- パブリックコメント（2月～3月）

（参考）スケジュールについて（依存症関連計画全体）

